



誠の医療人へ向かって

— 平成26年度 卒業式 —



(関連記事 P 8)

岩手医科大学の食堂めぐり

皆様は、岩手医科大学内に食堂が何店舗あるかご存知でしょうか？

内丸キャンパス、矢巾キャンパスを含めて、現在、大学内に食堂は5店舗あります。

日々、忙しく働いている教職員の皆様にとって、食べることは日々の活力の源であり、また、楽しみの1つでもあるのではないかと思います。

本号では、教職員を食事で支えていただいている大学内の食堂をご紹介します。

また、紹介に先立ちまして、小川理事長・学長に「食」に関するインタビューを行った内容をお届けします。

小川 彰 理事長・学長へインタビュー

▶好きな食べ物は何ですか？

麺類が好きですね。それからカキ鍋は大好きですよ。

▶印象に深い食事をお聞かせ下さい

スペインで食べたイカ墨のパエリアですかね。その店には、自家製のオリーブがあるんですが、日本で見るような形が整ったものではなく形も不揃いでした。しかし、味はとても美味しく、山盛りあったのをかわりました。外国では気取らず、店内の他の人が多く食べているのを見回し「あれ」と注文することを勧めます。間違いありませんから。

▶学生時代の思い出を教えてください。

学生時代はほとんど学食で食べていましたが、たまに、外で食べることもありました。北ホテルの「^{かまど}窯」や「きのえね支店」は当時からあったのを覚えています。

学生時代はお金が無く、飲みに行くときは、酒屋さんでもっきりを数杯飲んでから、大通りに行きました。

▶先生の「おふくろの味」は？

おふくろの味という訳ではないですが、母はとてもお節介で、食べる順番や食べ合わせなどにはうるさかったです。自分が食べてるんだらか、好きにさせてくれよ、とっていましたね（笑）

▶食事で気を付けていることはありますか？

夜は、会食なども多いため、昼食では「ご飯を半分残す」など、1日の中でバランスを取るようにしています。また、栄養士さんの前で大変恐縮ですが、朝食は基本的に食べません。

▶料理もお上手と聞きます。得意料理を教えてください。

色々作りますが、一番はトマトベースのスープパスタです。バジルなどの香辛料も多く使いますが、セロリを入れるのがミソです。学生時代、大通りにあったパスタ店のトマトスープパゲティがとても美味しく、

自分でも作ろうと思いました。トマトも沢山使うため、家族には「何人分つくるの!？」などと言われます。

▶こだわりがたくさんありそうですね。

食べることは大好きですからね。皆さんも同じだと思いますし、それは患者さんにとっても同じだと思います。個人的には、矢巾の新病院では医師の許可があればお酒を提供してもいいのではないかと感じています。

▶もし、最後の晩餐があったら何を食べたいですか？

そうですね、色々あってきめられないところもありますが、家で家族と普通のご飯を食べたいですかね。（ご自宅ではよくカレーをリクエストするそうです。）

▶盛岡界隈で好きな一品

2つありまして、1つは盛岡駅2階の麒麟シティの「こんにゃくのアヒージョ」、もう1つは盛岡駅前に古くからある金宝堂の「元祖とんてき」です。

▶本日はありがとうございました。

次回は趣味の「ロケット」について是非（笑）



インタビューアー（大学報編集委員）
栄養部 大須賀 志穂（左）、薬剤部 米澤 裕司（右）

医大レストラン (中病棟地下1階)

中病棟地下1階にある医大レストラン。

お見舞いの方の利用も多いが、教職員からの出前の注文も多い。洋食・和食・麺類・喫茶からなるメニューは豊富だ。お店では心地よくお昼の時間を過ごせるよう、ベテランのスタッフさんが笑顔で迎えてくれる。

味付けや量、アレルギーなどの要望にも対応。

地元の食材を使った料理も取り入れ、4月からは新たに紫波町産の小麦「銀河の力」を使ったラーメンが登場した。麺がのびにくい特徴があり、出前にもお勧めだ。ミートソースは通常のパスタ麺の1.5盛りとなっており、ボリューム満点である。



オススメ

- 杜仲茶ポークの生姜焼き定食… ¥940
- ピリ辛ラーメン…………… ¥840
- 広東メン…………… ¥680
- ミートソース…………… ¥600
- 冷麺…………… (夏季限定) ¥700



● 営業時間 ●

8:00 ~ 17:30 (平日)
9:00 ~ 15:00 (土日祝)

● 出 前 ●

本院、医学部地区

● 電 話 ●

内線 2028

インシーズン (東病棟地下1階)

中病棟地下1階の薬剤部を抜け東病棟方面へ向かう通路奥にあるインシーズン。

教職員食堂としてオープンし、現在は、一般の方も利用可能だが、利用者の多くは教職員や学生。

店名にもある四季折々の食材を生かした日替わりのメニューを手ごろな値段で提供している。

毎日利用する人向けに、価格帯も色々なニーズに応えるものとなっており、日替わりの主菜「本日の一品」や、ヘルシーで懐かしいおばんざい「小鉢」などが揃えられている。

また、お弁当・コーヒー等の各種ケータリング、宴会も随時承っている。



オススメ

- ハンバーグのハヤシ…… ¥620
- 本日の一品…………… ¥300 ~
- 各種パスタ…………… ¥500 ~ 600
- ヘルシー小鉢…………… ¥100
- 日替わり弁当…………… ¥515



● 営業時間 ●

11:30 ~ 15:00 (平日)
11:00 ~ 14:00 (土※)
※第1・第4土曜日

● 出 前 ●

内丸地区 (お弁当のみ)

● 電 話 ●

内線 6010

カフェテリア BES (ベス) (循環器医療センター2階)

循環器医療センター2階、歯学部との連絡通路のもとにあるカフェテリア BES。

開店当初は、喫茶メニューのみの提供であったが、教職員の声に応える形で食事の提供も開始。

大きな窓がとられた店内で、女性スタッフが明るい笑顔で迎えてくれる。

ブラジル豆を使ったこだわりのコーヒーが付くセットメニューに加え、4月からはヘルシー定食を提供する。また、お持ち帰り専用のお弁当もリニューアルする。

セット・定食メニューはどれもボリューム満点で、たくさん食べたい人にお勧めだ。



オススメ

- ベス定食……………¥800
- ブレンドコーヒー ……¥320
- カツカレーセット ……¥900
- 野菜炒め定食……………¥780
- ナポカツセット ……¥950



●営業時間●

10:00～17:00 (平日)
11:00～14:00 (土※)
※第1・第4土曜日

●出前●

なし

●電話●

内線 7227

フードコートこのはな (木の花会館1階)

木の花会館1階にあるフードコートこのはな。

教職員・学生が多く利用することもあり、定番のランチメニューがボリューム満点かつリーズナブルに提供される。

ワンコインメニューも多く、常連の教職員も少なくない。

気さくな店長と明るいスタッフが食事だけでなく、元気も届けてくれる。

創業時(現在の中庭2階)から変わらないカレーや、ラーメンのタレなど、懐かしい味の中にも、こだわりが詰まっている。

各種ケータリングやお弁当、フードコート内での宴会等も承っている。



オススメ

- 味噌ラーメン…………… ¥500
- カツカレー…………… ¥540
- 日替わり定食・弁当 …… ¥500、¥570
- 担担メン…………… ¥500
- かきあげそば・うどん … ¥450



●営業時間●

8:30～16:00 (平日)
8:30～14:00 (土※)
※第1・第4土曜日

●出前●

内丸地区

●電話●

内線 3523

矢巾キャンパス食堂 (矢巾キャンパス食堂・図書館棟 1 階)

矢巾キャンパスモールから東、駐車場側に位置する食堂。3面を大きなガラスで囲まれ、解放感がある食堂内は、昼時は多くの学生で賑わう。

定番の麺類・カレーだけでなく、栄養バランスを考えた日替わりの定食や丼をリーズナブルに提供している。

加えて、食堂入口には、日替わり弁当や、ミニ丼・おにぎりなどがどれもリーズナブルに販売されており、日々学生のお昼時間を満たしている。

また、若い学生にはお肉や揚げ物が好まれるが、バランスの良い食事をできるだけ提供する為、味噌汁に野菜を多く使うなどの工夫がされている。



オススメ

- 日替わり定食 …………… ¥350、2種類
- 日替わり丼 …………… ¥350、2種類
- 週替わりパスタ …………… ¥500
- 各種カレー …………… ¥350 ~
- 各種そば・うどん …………… ¥250 ~



- 営業時間 ●
11:30 ~ 14:00 (平日)
- 出 前 ●
なし
- 電 話 ●
内線 5350

理事会報告

2月定例(2月23日開催)

1. 名誉教授の称号授与について

三浦 廣行(口腔保健育成学講座歯科矯正学分野教授)
遠藤 重厚(救急医学講座教授)
(授与年月日 平成27年4月1日)

2. 役職者の選任について

副学長 祖父江 憲治 (再任)
副学長(歯学部改革担当) 三浦 廣行 (新任)
歯学部長 三浦 廣行 (再任)
附属病院長 酒井 明夫 (再任)
(任期 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
附属花巻温泉病院長 一戸 貞文 (新任)
医療専門学校長 小豆嶋 正典 (新任)
(任期 平成27年4月1日から平成30年3月31日まで)

3. 教員の人事について

口腔保健育成学講座歯科矯正学分野 教授
佐藤 和朗 (前 同分野 准教授)
教養教育センター 人間科学科 哲学分野 教授
遠藤 寿一 (前 同分野 准教授)
内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野 准教授
中村 豊 (前 同分野 特任准教授)
教養教育センター 人間科学科 体育学分野 准教授
小山 薫 (前 同分野 講師)

口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 特任准教授
佐藤 健一 (前 同分野 講師)
生化学講座 細胞情報科学分野 特任准教授
客本 斉子 (前 同分野 講師)

(発令年月日 平成27年4月1日)

4. 職員の人事について

企画部長 高橋 真 (前 企画部次長)
総務部長 吉田 秀樹 (前 人事職員課長)
財務部長 吉田 達朗 (前 経理課長)
施設課長 乙茂内 博 (前 施設課長補佐)
学事総務課長 澤田 幸司 (前 健康管理センター事務室長補佐)
歯学部教務課長 近藤 敬 (前 歯学部教務課長補佐)
(発令年月日 平成27年4月1日)

5. 奨学金規程等の一部改正について

歯学部学業奨励奨学金規程、薬学部学業奨励奨学金規程、薬学部育英奨学金規程、薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程及び大学院奨学規程の一部改正について承認

6. 日本赤十字社岩手県支部跡地の土地活用について

日本赤十字社岩手県支部・日赤岩手乳児院の敷地について、建物解体後、内丸メディカルセンター建設に係る具体的な計画及びスケジュール等が固まるまでの間、当面、附属病院駐車場とすることについて承認

「いわての師匠」派遣事業が岩手県立盛岡第三高等学校で行われました

2月26日（金）、岩手県立盛岡第三高等学校において、「いわての師匠」派遣事業が行われ、大塚耕太郎教授（災害・地域精神医学講座）が講演を行いました。



本事業は、本県「いわて未来づくり機構」の復興教育作業部会の主催により、今回は盛岡三高1学年の復興教育特別講座の一環として行われました。

大塚教授からは、「こころの健康について～こころに寄り添うために～」と題し、身近な人とのコミュニケーションにおける相手の感情の捉え方や、どうすれば相手の気持ちに寄り添うことができるのかについて、講演が行われました。

参加した生徒さんからは「人に真意を伝えることがこれほど難しいということ、相手が言ったことに対して何気なく返している言葉一つでコミュニケーションが変わり、相手のストレスを軽減できることがよくわかった。」との感想が寄せられました。



第2回「Library+」が行われました

2月28日（土）、矢巾キャンパスにおいて、図書館主催のイベント「Library+」が行われました。

第2回目となる今回は、「英字新聞でエコバックを作ろう！」をテーマに、図書館事務室の職員が講師となり、図書館で廃棄予定の英字新聞や雑誌を使って、おしゃれで丈夫なオリジナル・エコバックづくりを行いました。

当日は、教職員の他、一般の方も参加され、悪戦苦闘しながらも、エコバックづくりを楽しみました。



最終講義が行われました

3月2日（月）、歯学部4階講堂において、医学部・歯学部教授の最終講義が行われました。

講義は本学教職員・学生をはじめ多数の関係者が聴講し、名残惜しそうに耳を傾けていました。

講義終了後には、各教授に職員・学生等から花束が贈呈され、惜しみない拍手が送られました。



■ 最終講義を迎えられた教授（写真左より）

中居 賢司 教授（口腔医学講座関連医学分野）

三浦 廣行 教授（口腔保健育成学講座歯科矯正学分野）

遠藤 重厚 教授（救急医学講座）

平成26年度厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) 成果報告会が行われました

3月2日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、平成26年度厚生労働科学研究費補助金(研究課題:持続可能な広域医療情報連携ネットワークシステムの構築に関する研究、代表者 小川 彰)の成果報告会が行われました。



当日は、小野寺 好広 研究員(皮膚科学講座)及び小山 耕太郎 教授(小児学講座)より研究報告が行われました。

研究報告に引き続き、自治医科大学 地域医療学センター 梶井 英治 センター長(写真下)より「地域医療の充実に必要なネットワークの構築の鍵」と題した基調講演が行われ、地域医療のこれからの提供体制について講演がありました。全国に先駆けて少子超高齢化を迎える岩手県においても、限りある医療資源をどのように活用するかが課題となっており、参加者は熱心に耳を傾けていました。



平成26年度岩手医科大学医療専門学校卒業式が行われました

3月5日(木)、歯学部4階講堂において、平成26年度岩手医科大学医療専門学校卒業式が執り行われ、歯科技工学科11名、歯科衛生学科31名に卒業証書が授与されました。

三浦 廣行 医療専門学校長は「歯科技工士、歯科衛生士は国民のQOLの向上に努めることで、生涯にわたって心身の健康が保持増進されるための中心的役割を担っております。皆さんが、患者さんから、社会から信頼され活躍されることを期待しています。」と式辞を述べられました。

また、歯科衛生学科の伊藤 梓 さんより「3年間の学生生活では、辛いことが多かったが、親身になって相談に乗ってくれた先生や、笑わせてくれる仲間がいた。培ったことを糧にし、挑戦することを怖れず進んでいきたい。」、歯科技工学科の佐藤 永元 さんより「歯科技工士としての技術と心を学ぶことができました。医療専門学校の卒業生としての自覚と誇りを胸に努力していきたい。」とそれぞれ答辞がありました。



歯科技工学科



歯科衛生学科

薬学部企業研究セミナーが行われました

3月7日（土）、矢巾キャンパス東研究棟1階SGL教室において、薬学部学生を対象とした学内企業研究セミナーが開催されました。

本格的な就職活動時期を迎える薬学学生への就職支援の最大イベントとして、官公庁・医薬品メーカー・ドラッグストアなど、全78の事業所の人事採用担当者を招き、会社概要や採用情報を提供していただきました。また、本学卒業生も担当者として来校しており、先輩の生の声を聞く貴重な機会となりました。



第25回医学教育ワークショップが行われました

3月10日（火）、創立60周年記念館8階研修室において、医学教育ワークショップが行われました。

「医学教育分野別認証評価について」をテーマに、佐藤 洋一 教授、田島 克巳 講師（医学教育学講座）を講師とし、医学教育分野別認証評価の概要と意義、評価に至るまでのプロセスについて講演が行われました。

グループワークでは認証評価への対応を念頭とした本学の教育環境について討議が行われました。



平成26年度岩手医科大学卒業式が行われました

3月13日（金）、岩手県民会館大ホールにおいて、平成26年度岩手医科大学卒業式が執り行われました。大学院医学研究科博士課程8名、大学院医学研究科修士課程6名、大学院歯学研究科博士課程7名に学位記が、医学部104名、歯学部47名、薬学部124名に卒業証書と学位記が授与されました。

小川 彰学長は「病を抱えた弱者の立場に立つ良識ある医療人として歩んで頂きたいと思います。医療は、「病」を診るのではありません。病を抱えた「人」を診

るのです。患者の立場に立った医療人を目指し精進していただきたい。」と式辞を述べられました。

卒業生代表の医学部 郷内 貴弘さん・歯学部 森岡 彬さん・薬学部 秋浜 沙織さんから、「今後はヒポクラテスの医道規範に則り、生命の尊厳を宗として医療を行い、つねに医学・歯学・薬学の研鑽に励み、医師・歯科医師・薬剤師・研究者としての社会的使命を自覚し、本学の建学の精神である誠の人間たるべく努力することを誓います。」と宣誓が行われました。



医学部白衣授与式が行われました

3月16日（月）、創立60周年記念館9階講義室において、平成27年度に附属病院で臨床実習が始まる医学部第5学年の学生の白衣授与式が行われました。

授与式では、小林 誠一郎 医学部長、酒井 明夫 附属病院長、小笠原 邦昭 医学部教務委員長、中村 隆二 クラス担任の出席の下、学生138名に白衣が授与されました。

学生を代表して、佐藤 貴紀 さんより『私たちはここに、白衣を授与されました。今後はヒポクラテスの医道規範に則り、患者様本位の安全かつ高度で良質な医療の実践と、地域医療への貢献を目指し、勉学に励み、本学の建学の精神である「誠の人間」たるべく努力し、これから始まる臨床実習においては岩手医科大学附属病院の理念である「誠の精神に基づく誠の医療」を実践することを誓います。』と宣誓が行われました。



文部科学省高等教育局企画官をお招きし講演会が行われました

3月16日（月）、創立60周年記念館10階会議室において、文部科学省高等教育局医学教育課 平子 哲夫 企画官を講師としてお招きした講演会（学長主催）が行われ、医学部・歯学部・薬学部の教育担当教職員等が聴講しました。

「医療系学部の教育改革と将来の展望」と題し、これからの医療及び医学・歯学・薬学教育の充実に向けた課題や取組みについて、国の施策のポイントを交えながら、講演が行われました。

講演後には、参加した教員から本学の抱える教育の課題等について質問や意見が出されました。



平子 哲夫 氏 ご略歴

広島大学医学部医学科卒、ロンドン大学修士課程修了
平成19年 厚労省医政局国立病院課高度・専門医療指導官
平成20年 同 大臣官房厚生科学課主任科学技術調整官
平成21年 佐賀県健康福祉本部長
平成24年 厚労省医政局医師確保等地域医療対策室長
平成25年より現職

厚生労働省医政局医師確保等地域医療対策室長をお招きし講演会が行われました

3月24日（火）、創立60周年記念館9階講義室において、厚生労働省医政局地域医療計画課 佐々木 昌弘 医師確保等地域医療対策室長を講師としてお招きした講演会（附属病院長主催）が行われ、病院関係教職員等が聴講しました。

「病床機能報告制度と地域医療構想（ビジョン）で医療はどう変わるか」と題し、医療法改正に伴うこれからの医療計画（病床機能報告制度・地域医療構想（ビジョン））のポイントが説明されました。



佐々木 昌弘 氏 ご略歴

秋田大学医学部医学科卒
平成8年 厚労省入省
医政局総務課医療安全推進室長、国立成育医療センター政策医療企画課長、国立病院部経営指導課、老健局総務課及び老人保健課 等を歴任
平成21年 広島県健康福祉局長
平成25年より現職（併）在宅医療推進室長

岩手医科大学募金状況報告

【創立120周年記念事業募金】

平成26年6月から始めました岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、格別のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後とも関係各方面からの格別なるご協力・ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は第3回目の御芳名紹介です。(平成27年1月1日～平成27年2月28日)

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

●法人・団体等(4件)

- <1,000,000> 医療法人 盛紀会 鳥羽整形外科医院 (岩手県大船渡市)
医療法人 苫米地レディースクリニック (青森県八戸市)
<300,000> 医療法人 四照会 (岩手県奥州市)
<200,000> 医療法人社団 種志会 (千葉県木更津市)

(受付順 敬称略)

●個人(27件)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| <1,000,000> | <30,000> | 岩田 千尋 (医20) |
| 昆 宰市 (役員) | 守屋 光孝 (歯15) | 板坂 美代子 (父母) |
| 佐藤 恵 (医23) | 守屋 美重 (歯15) | 石橋 寛二 (役員) |
| 山崎 紀一 (医15) | <10,000> | 蓬田 邦彦 (父母) |
| 室岡 卓 (医8) | 渡邊 麟也 (医11) | 小野 繁 (役員) |
| <500,000> | <御芳名のみ掲載> | 杉村 淳 (教職員) |
| 岡崎 俊雄 (専15) | 猪股 千枝 (薬1) | 山下 眞彦 (医9) |
| <100,000> | 佐藤 卓 (父母) | 黒川 壽久 (医56) |
| 有馬 恒彦 (医23) | 高橋 健 (父母) | 中館 一郎 (医30) |
| 土本 啓幾 (医40) | 加藤 良平 (医27) | 矢部 千晴 (医36) |
| 平山 長一朗 (父母) | 加藤 和子 (歯11) | |
| <50,000> | | (受付順 敬称略) |
| 千葉 康弘 (父母) | | |

区分	申込件数	寄付金額(円)
圭陵会	222	177,960,000
在学生ご父母	172	92,155,000
役員・名誉教授	19	20,460,000
教職員	55	8,867,000
一般	10	5,500,000
法人・団体	49	145,900,000
合計	527	450,842,000

(平成27年2月28日時点)

ご支援のお願い

岩手医科大学では、創立120周年記念事業遂行を目的とした寄付金を募り、教育・研究・医療の一層の充実を図りたいと考えております。「厚生済民」「誠の人間の育成」の創立理念のもと、これからも医療の力をもって地域に貢献し、世界に羽ばたく大学を目指してまいりますので、何卒この趣旨にご賛同をいただき、本事業達成のために格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先… 創立120周年記念事業事務局 Tel 019-651-5111 (内線7022、7023) E-mail anniv@i.wate-med.ac.jp

創立120周年記念イベント 「健康フェス2015」

企画募集

岩手医科大学では、創立120周年記念事業の一環として、一般市民へ向けて「健康」をテーマに本学が有する「医の力」、「知の力」を発信し、地域とのつながりを強化する全学的なイベント「健康フェス2015」を実施します。

そこで、教職員・学生の皆様からもイベント企画を募集いたします。

イベントを盛り上げる企画や、既存のイベントを拡大して開催する企画・アイデアなど、多数のご応募をお待ちしております。

応募要件

- ・メインテーマである「いきいき 元気 健康家族」を感じることが出来る企画・アイデア。
- ・創立120周年記念事業のスローガンである「誠のあゆみ、未来へつなぐ」を具体化するような企画。
- ・在学生、卒業生をはじめとする岩手医科大学、大学関係者や地域・社会の気運を高めるとともに大学への理解と支援の拡大を目的とした企画。

応募資格

- ・岩手医科大学または岩手医科大学医療専門学校の教職員・学生個人及び団体

募集期間

- ・平成27年5月1日～5月29日

選考方法

- ・創立120周年記念事業小委員会にて企画内容や趣旨を検討します。

企画例

- ・健康をテーマにした体操教室
- ・胎教ミニコンサート
- ・ラフターヨガ など



応募方法お問い合わせ

- ・下記にメールでお寄せ下さい。
(書式等は問いません)
E-mail: anniv@j.iwate-med.ac.jp
創立120周年記念事業事務室 (内線7022)



誠のあゆみ、
未来へつなぐ

■ 創立120周年記念ロゴマーク・スローガン ■

岩手医科大学 健康フェス2015 実施概要 (予定)

- 開催日程 平成27年9月12日(土) 9:30～16:30
- 会場 矢巾キャンパス
- テーマ いきいき 元気 健康家族
- 現時点での企画 (イメージ)
 - ・特別講演
 - ・各学部、教養教育センターの教員による公開講座
 - ・研究発表、研究体験
 - ・体力測定
 - ・健康相談、体験講座
 - ・健康診断
 - ・栄養相談、試食コーナー
 - ・お口のよろず相談、ブラッシング指導、展示等
 - ・施設開放 (体育施設、図書館・ラーニングcommons)
 - ・薬草園見学
 - ・ドクターヘリ基地ヘリポート見学
 - ・食堂でのヘルシーメニュー提供 など

定年を迎えられた教職員の皆様、永い間お疲れ様でした

本年3月31日付で定年を迎え退職された皆様には、永い間岩手医科大学発展のためにご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。皆様の今後のご健勝を祈念いたします。



- 4列目 遠藤 祐一 遠藤 厚 早川 幸信 神原 芳行 池野 広和 葛西 健郎
 3列目 吉田 福子 永峰美智子 藤原 陽子 高橋三枝子 村上キヨ子 佐藤 祐子 日下まつ子 小笠原一美 多田美枝子
 2列目 青柳 郁子 山形 麗子 山内 和子 鈴木 洋子 久保 高子 岩井 敦子 工藤 友子 八幡 洋子
 1列目 及川 史智子 高橋事務局長 酒井病院長 前田薬学部長 小川理事長 小林医学部長 三浦 廣行 中居 賢司 稲葉 大輔
 (敬称略)

表彰の 栄誉

脳神経外科学講座 小林正和助教、同講座 佐藤由衣子大学院生、 超高磁場MRI診断・病態研究部門 上野育子助教の3名が 第38回日本脳神経CI学会総会でアワード全3部門を独占受賞しました



(写真左から：佐藤大学院生、小林助教、上野助教)

この度、第38回日本脳神経CI学会総会（平成27年2月13・14日に名古屋で開催）において、本学の3演題がアワード全3部門を独占受賞いたしました。

受賞演題は、ベストシンポジウム賞が脳神経外科学講座大学院生 佐藤由衣子の「頸動脈内膜剥離術中微小塞栓出現の術前予知：至適MRIプラークイメージングの検討」、ベスト口演賞が同講座助教 小林正和の「頸動脈内膜剥離術後過灌流の予知にアセタゾラミド負荷は必要か？安静時脳血流量測定単独との精度比較」、ベストポスター賞が超高磁場MRI診断・病態研究部門助教 上野育子の「7T-MRIの定量的磁化率マップによるOEF計測：主幹動脈病変患者のPET画像との比較」です。

いずれの演題も脳主幹動脈閉塞・狭窄性病変における治療方針決定に役立つ研究として高い評価をいただいたものと考えております。今回の受賞を励みとして、今後も画像診断技術の発展に寄与すべく研究に邁進していきたいと存じます。本研究に対しご指導・ご協力頂きました多くの先生方・皆様に深謝申し上げます。

(文責：超高磁場MRI診断・病態研究部門 上野育子)

シリーズ 職場めぐり

内科学講座消化器内科消化管分野

平成25年9月に九州大学より松本主之教授が赴任され、消化器内科消化管分野として新たな体制でスタートしました。スタッフは昨年4月県外から2名、研修終了後の3名の医師が加わり、さらに10月には九州大学より中村昌太郎准教授を迎え院内14名体制となっています。

診療は上部消化管、下部消化管、胆膵と幅広い疾患領域を担当しています。また、近年の内視鏡検査需要の増加に伴い検査枠の拡充を図り、迅速な検査体制に変更しました。内視鏡診断として画像強調内視鏡を用いた質的診断を積極的に導入し、胆膵領域においては超音波内視鏡による膵癌の早期発見に努めています。治療に関しては内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を胃、食道、大腸に施行しています。同手技を応用して外科との腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）、耳鼻科との内視鏡的咽喉頭手術（ELPS）も行っています。今後も広い領域で内視鏡による低侵襲治療を行います。

外来診療は曜日毎に各領域の担当者が診療を行っており、中でも当教室の主要な研究テーマである炎症性腸疾患については松本教授を中心として積極的に外来紹介患者を受け入れ

ており、地域の炎症性腸疾患の診療の中心を担っています。

研究・教育については診療科の枠を超え、臨床病理との定期的な交流を行い内視鏡診断と切除病理の対比による診断力向上、発生病態の検討を行っております。

（助教 小穴 修平）



薬剤部（薬剤管理指導部門）

薬剤管理指導部門は、医薬品情報管理室・服薬指導室・医薬品試験室の3部署で構成され、医薬品を適正に使用していただくために医薬品の情報提供、患者指導、薬物療法の支援などを行っています。

医薬品情報管理室は、院内外からの医薬品に関する問い合わせへの対応のほか、医薬品情報の収集・管理、DIニュースや院内採用医薬品薬効別一覧などの医薬品情報の提供を行っています。服薬指導室は、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務を専任で行うほか、妊娠とお薬相談・周術期外来・肝移植外来など安心して薬物療法を受けていただくために、患者さんに対する服薬指導や薬剤管理を行っています。医薬品試験室は、抗菌薬や抗てんかん薬などについて副作用の予防や十分な効果が得られるよう薬物血中濃度の解析を行い、投与量の提案を行っています。

常に良質な医療を提供することを心がけ、様々な視点から医薬品の適正使用推進に貢献したいと思います。

（薬剤長 岩淵 修）



看護部（消化管・肝臓内科外来）

消化管・肝臓内科外来は、消化管と肝臓分野に分かれ、午前が新患と一般診療で、午後には各分野の専門外来診療を行っています。専門外来は消化管分野が5つ、肝臓分野が8つに分かれ、曜日毎に専門外来を設定しています。

外来看護の役割は、慢性疾患患者の増加や在宅医療の促進などの変に化に伴い、患者さんのセルフケア能力を高める援助や、患者さんの多様な生活にあった支援が必要でとても重要です。このため、看護師はがん看護や肝炎患者の看護など個々の得意分野を活かし、生活上の相談や指導などで意図に患者さんに関わっています。また、週に一度の部署内ミーティングで患者情報を共有し、意見交換することで継続した関わりにつなげています。

現在、当外来では診察までの待ち時間への配慮とし

て、待合廊下に季節の飾りやBGMを流すなど、環境の改善にも取り組んでいます。

（主任看護師 齋藤 和子）



《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰 菊池 初子
影山 雄太 江刺家 和恵
松政 正俊 佐々木 さき子
齋野 朝幸 米澤 裕司
小山 薫 佐々木 忠司
藤本 康之 畠山 正充
佐藤 仁 大須賀 志穂
成田 欣弥 武藤 千恵子
山尾 寿子 野里 三津子

編集後記

今から二十年ほど前、本学に就職したばかりの私は、中庭にあった食堂（通称：ホール）のチキンライス大盛りが大好物でした。オムライスと中身は同じなのですが、卵が無い分安く沢山食べることができたのです。今でも目をつぶると、少し焦げたケチャップの味と香りを思い出してお腹が鳴りそうになります。さすがに大盛りは厳しくなってきましたが…

職員の皆様も、学内の食堂や近隣のお店には思い入れが深いのではないのでしょうか？足しげく通うお気に入りの隠れ家も様々なことでしょう。いつかはアフター5編も特集したいですね！

（編集委員 影山 雄太）

岩手医科大学報 第463号

発行年月日 平成27年4月30日

発行者 学長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111（内線7023）

FAX. 019-624-1231

E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp

スポット医学講座

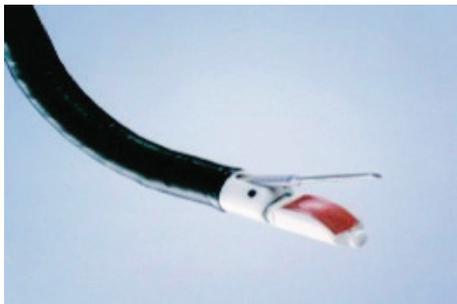
内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野 准教授 中村 豊



超音波気管支内視鏡による生検

ご存知のように肺や胸膜、縦隔に発生する疾患は感染症（結核・肺炎）、アレルギー性疾患（気管支喘息・過敏性肺炎）、腫瘍性疾患（肺癌・中皮腫）、さらに炎症性疾患（肺気腫・サルコイドーシス）など多岐にわたり、胸部は病名が最も多い部位とされています。多くの種類の疾患に対し、正確な診断をするのは大変難しいことですが、まず最も体に負担がかからない検査として、喀痰細胞診・細菌検査が思い浮かばれると思います。肺の奥深い末梢病変に対しては、喀痰検査だけでは十分ではなく気管支内視鏡検査などが用いられますが、中枢側の縦隔リンパ節（肺癌やリンパ腫、サルコイドーシス、結核など）に対するアプローチは、全身麻酔下に縦隔鏡検査や開胸術を行うなど比較的侵襲性が高い検査が行われてきました。縦隔リンパ節の検査は、CTなどでリンパ節腫脹がみられた場合の良悪性の診断や、肺癌患者の病期診断を行なう場合などに必須のものです。肺癌のリンパ節転移は治療方針や予後に影響を与えますので、非常に重要な因子となっています。2010年に超音波気管支内視鏡ガイド下肺生検 (Endobronchial ultrasonography-guided transbronchial needle aspiration: EBUS-TBNA) が保険適応となり、この

検査によって特に縦隔リンパ節に対しては、内視鏡的に低侵襲性の検査が可能となりました。気管支内視鏡の先端には小型の超音波と吸引細胞診用の穿刺針がついておりますので、目標とするリンパ節の直上の気管支で内視鏡を固定し、先端から穿刺針を出して気管支壁を貫きリンパ節を穿刺し陰圧をかけることにより細胞成分が吸引、採取されます。誤って血管を穿刺した場合出血性ショックとなりますので、血管とリンパ節を区別するために超音波にはカラーフローモードが付いており、リンパ節と血管の区別が可能です。リンパ節内にも動静脈が通っていますが、穿刺による出血が問題になることはありません。かつてはこのリンパ節内の血管の走行により転移の有無の鑑別が可能では無いかと研究がすすめられましたが、やはり穿刺をして細胞診による診断が確実であることがわかっています。穿刺の際気管支壁が押されますので患者さんは咳をして、それにより視界が動いてしまいます。さらに超音波内視鏡は吸引力が弱いために、穿刺による出血でさらに視野が取れなくなります。私たちは検査の後は必ずビデオで振り返り、ディスカッションを重ね少しでも安全にかつ正確に検査が行われるよう努めています。



オリンパス社のEBUS-TBNA
先端は6.9mmもありますので太い挿管チューブ
を使用しないと中を通すことができません。



超音波像で穿刺針がリンパ節に刺入されているのがみられます。